

令和2年度 飯田小学校 学校評価だより

(中間結果報告)

令和2年10月27日

《学校教育目標》

心をあわせ、はつらつと、学びの道にいそしむ児童の育成

令和2年度前期の学校評価として9月下旬に実施した児童・保護者・学校職員の三者によるアンケートをもとに、子ども達や保護者の皆様の意見をまとめました。後日、学校関係者評価委員の皆様はその結果をお知らせしました。そこで頂いた意見も含めて、今年度の重点項目を中心に学校改善の指標として中間評価を行いました。成果が見られた項目と課題となった項目について一部お知らせします。

学力向上を達成する。国語科・算数科を中心に。

学校で学ぶことは楽しい…回答 93.7%

学校で学ぶことについての質問で、肯定的回答が児童・保護者ともに高めです。

児童:「学校で学ぶことは楽しい」…**低学年96.0%・高学年92% 平均93.7%**

保護者:「お子さんは学校へ意欲的に登校していますか」…**92.0%**

結果を見ると、全般に児童・保護者ともに肯定的回答が9割を超え、子どもたちは意欲的に学んでいるとみられます。これは、国語科・算数科を中心に学び合いを大切にする授業に取り組んできたこと、教科と体験活動を結びつけながら目的を持って取り組ませてきたことで充実感や達成感が得られ、学校で学習することが楽しいと実感できたのではないかと思います。また、学校で学習したことを教科の枠に関係なく活用していることがうかがえます。

ア:そう思う イ:だいたいそう思う

ウ:あまりそう思わない

エ:まったくそう思わない

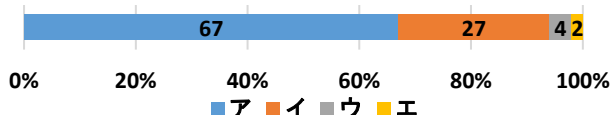


福祉体験

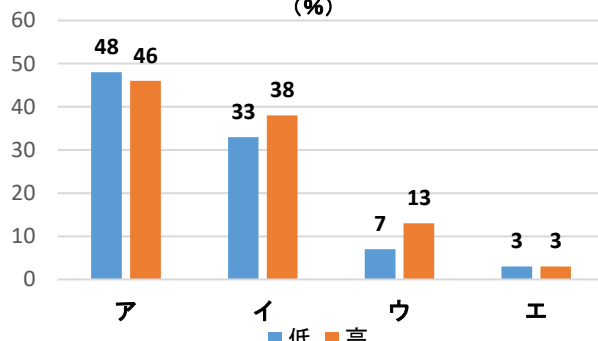


地層見学

学校で学ぶことは楽しい(%)



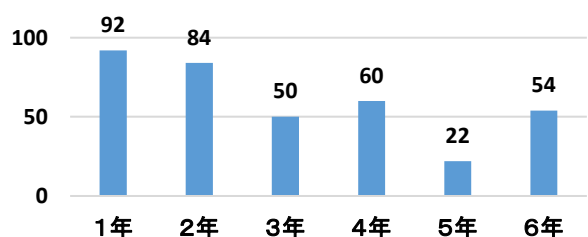
単元で学んだことを、外の場面で生かすことができた(%)



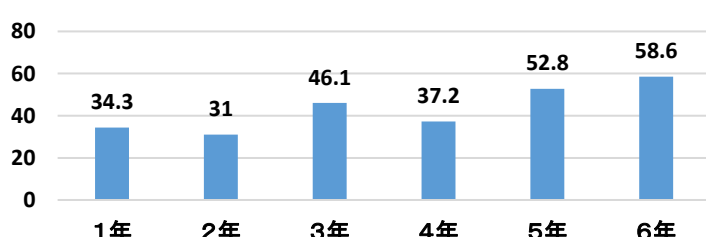
【課題となる項目】 家庭学習の確立

学力向上において大切なことの一つに家庭学習習慣の確立があります。今年度の家庭学習強化週間の目標時間達成者の割合を見ると、低学年はやや高いのですが、中・高学年では、低い結果となっています。

目標学習時間達成率(%)



各学年学習平均(分)



達成率は低いのですが、各学年の平均学習時間は学年の目標時間に近い数値となっています。このことから、あと数分目標時間に及ばない児童が大勢いること、また個人差があることが分かります。この結果をもとに、今後は家庭学習の量的・質的側面の両面からの見直しを学年部ごとに行っていこうと思います。また、自学ノートの内容についても個別に支援できるよう取り組んでいきます。

全児童が自己肯定感や有用感を持てるようにする。(いじめ・不登校未然防止)

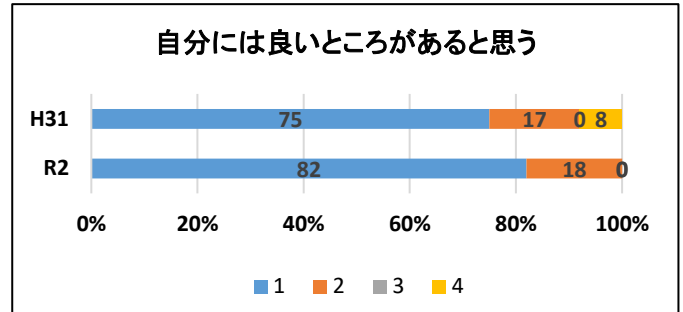
友達の悪口を言わなかった…児童 91% 人が困っている時は、進んで助けようとしている …児童 90%

道徳の授業を通じて、人間関係づくり、コミュニケーションの大切さを考え行動する力の育成を進めてきました。また、「間違いを生かす授業」を合言葉に、子ども達一人一人の考えを大切に、生活態度での指導の実践にも取り組んできました。

自己肯定感や有用感についても、児童の活躍の場を確保したり、児童の頑張る姿を認めたり、児童同士で認め合う場を作ったりするようにしてきました。7月には「いじめ撲滅集会」を開き、友だちを大切にすることや一人一人が楽しく学校生活を送るためにはどうすれば良いのかについて全校で考えました。今後も、自分も友達も大切にできる子ども達を育てていきたいと思っています。

学校は、いじめや暴力のない学校づくりに努めている と思いますか。…保護者85%

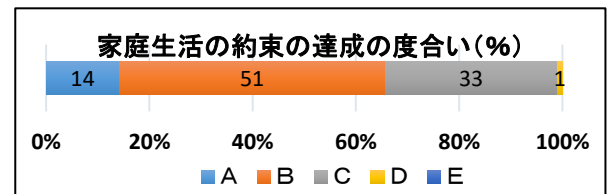
6年生は質問紙調査で以下のような回答をしていました。R2年度の肯定的回答は100%（凡例 1, 2が肯定的回答）



学校と家庭地域の連携(家庭・地域との連携協力体制の確立)

「家庭生活」の約束を守ることができた…児童 87.0% 「家庭生活」の約束の達成度合い…保護者 65.4%

A:そう思う B:ややそう思う C:あまり思わない
D:思わない E:分からない



本校では、家庭や地域と学校との繋がりを大切に、家庭と地域の教育力を生かした学校づくりに取り組んでいます。その取り組みの一つとして「家庭生活の約束」がありますが、取り組みの達成率については、子ども達とお家の方の意識に20ポイントの差がありました。

保護者アンケートでは、『約束だよ。』と言うと守ろうとする姿が見られた」「実践したことにより、心が少し豊かになったように感じる」など、よりよい成長が見られるようになったという意見が寄せられました。その一方で「やらされ感がある」「継続して取り組むことが難しい」などの意見も寄せられ、学校と家庭との連携をどのように図っていくのかという点で課題が残りました。

第1回学校評議員会・学校関係者評価委員会報告

10月15日(木)に、学校評議員の坪野節子様、村田良和様、関原敏郎様、道下夏織母親代表様に来校していただき、ご意見・ご感想をいただきました。ご意見をもとに、よりよいものに改善していきます。ありがとうございました。主な意見を紹介いたします。

① 児童や職員の様子

- ・コロナの問題で休止していた読書ボランティアの活動が久しぶりに再開した時、お互いにマスクを着用したままで、出入り口も窓も開け放たれ、座席は1mほどの間隔を開けて教室の端から端に設けられ、緊張した雰囲気を感じました。が、今日はいつもと変わらぬのびのびとした授業風景を参観することができ、コロナの問題を乗り越えていく子ども達と先生方のたくましさを感じています。図工や書写の授業を初めて参観しました。新鮮でした。
- ・授業を見学しに教室に入ってきた私たちにそれほど気を取られることなく、落ち着いて聞いていたと感じました。先生方も若い方が多いですが、落ち着いてやっていたと感じました。
- ・おはよう挨拶運動の時は、あまり元気がなかったが、今日は校長・教頭と一緒にいたからか、児童の方から大きな声で挨拶をしてくれとても気持ち良かった。先生方も明るく笑顔で授業をされていたので好感が持てた。
- ・児童も先生方も元気がよく、大変気持ちよかったです。

② 中間評価から

- ・家庭に関する項目の評価が低くなっています。毎年そのような傾向があると思いますが、学校を離れた所では難しいと思います。
- ・家庭学習の確立項目で評価Cというのはとてもひっかかる。もちろん保護者にも責任があると思うが、改善するためにどうしたら良いか学校側から保護者へ具体策を教えてください。

③ その他

- ・学校の周りの除草や前庭の樹木の手入れが行き届いていて、気持ちがいいです。
- ・先生方にはコロナ禍で例年になくご苦勞をおかけしているにも関わらず、特に修学旅行において保護者の声に丁寧にご対応下さり、ありがとうございます。
- ・保護者の方からの自由意見で、いじめの件がありましたが、大変だとは思いますが、しっかり解決できるようよろしくお願いします。

学校評価（中間結果）

【学びが楽しい学校づくり】	A
【主体的に課題解決する児童の育成】（学校研究）	B
【家庭学習の確立】	C
【道徳教育の充実】	A
【規範意識を高める】	B
【特別支援教育の充実】	A
【自己健康管理能力の向上】	A
【家庭・地域との連携協力体制の確立】	C
【学習環境の整備・校内環境美化】	B
【業務改善】	C